

長崎日大初の4強

第89回全国高校野球<準々決勝>



【長崎日大 楊志館】1回表長崎日大2死二塁、曲淵が左前に適時打を放つ。投手甲斐、捕手荒巻

= 甲子園

楊志館 (大分) に快勝

7 : 1

準々決勝 (甲子園)

長崎日大	2	0	1	0	2	1	1	0	0	7
楊志館	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

第13日は20日、甲子園
【本社取材班】第89回
全国高校野球選手権大会

球場で準々決勝を行い、本県代表の長崎日大は楊志館(大分)に7-1で快勝、初の準決勝に進んだ。県勢の4強進出は1976年の海星以来、31年ぶり。長崎日大は県勢最多となる春夏通算11勝目。県勢としても春夏通算50勝目に到達した。

長崎日大は初回、上戸の左犠飛、曲淵の左前適時打で2点を先行。その後も攻撃の手を緩めず、確実な犠打を絡めながら得点を重ねた。エース浦口は立ち上がり1点を失ったが、その後は切れのある変化球を生かして徐々に調子を上げ、九回二死まで8安打1失点の好投。最後は小山が二ゴロで締めた。

第14日は21日、準決勝2試合を行い、長崎日大は県勢初となる決勝進出を懸けて第2試合(13時30分試合開始予定)で佐賀北(佐賀)と対戦する。

長崎新聞

発行所
長崎新聞社
長崎市茂里町3-1 〒852-8601
(C)長崎新聞社

電子号外

(フリーダイヤル) ミナヨム ナガサキ
0120-374673

長崎新聞購読専用

詳しくは8月21日付の
長崎新聞をご覧ください。